

峰山学園保幼小中一貫教育だより

ほっとニュース地域版 第3号【R4年6月号】

峰山学園教育目標: 自己肯定感を持ち、自分の将来を展望し、共に学ぶ子の育成

目指す子ども像: ◇意欲を持って自ら学ぶ子 ◇思いやりのある子ども ◇進んで心と体を鍛える子ども

6月に入り、教育活動も1学期の後半に差し掛かりました。依然としてコロナ禍にありますが各園小中学校では、感染症対策を施しながら『学園として子ども達に育みたい力』を目指して教育活動を展開しています。目指す子ども像の「意欲を持って自ら学ぶ子」の育成に向け、日常の取組や経験から“いかに自主性を育むか”、“人との関わりの中でコミュニケーション能力をはじめとする様々な力を身に付けさせていくか”工夫しながら取組を進めています。5月は気候も良く、体育的な行事や年度初めの人間関係を結んでいくための取組が各園、小中学校で繰り広げられました。その一端を紹介します。

しんざん小: 5/27 春の運動会



低・中・高学年が力を合わせて球を運びます。高学年のリードのもとに低学年も上手に運べるようになり、力を合わせることの大切さを学びました。

いさなご小: 5/27 チーム遠足



途中ヶ丘公園までチームごとに歩いて行きました。それぞれの学年に役割が与えられているので、みんなが主役です。1年生を歓迎する取組でもあります。

峰山小: 5/28 ニコニコフェスティバル



「自分達で全てを創り上げてみたい」という思いを形にしました。思いを伝え認め合うことを大切にしたい取組です。1～6年生の誰もが役割と目標を持って臨みました。

長岡小: 6/2 長岡っ子交流会



3年ぶりに祖父母・長寿会の方を招いて交流会が行われました。授業を参観後、昔の遊びや百人一首を祖父母・長寿会の方と楽しい時間を共有しました。

峰山中: 6/2 合唱祭



3年ぶりとなる合唱祭でした。学年毎にクラスの曲を発表しました。取組を通じてクラスの団結力が高まりました。大きく成長する機会となった取組です。

中学校の合唱祭は保護者の方も参観されました。生徒の頑張る姿とクラスで創り上げた歌声を保護者に届けました。1～3年生全ての学年が初めて体験する合唱祭です。3年生にとっては最初で最後となる合唱祭でした。これぞ3年生！という堂々たる歌声と賞禄を見せてくれました。



京丹後市が施設分離型の保幼小中一貫教育を進めてから9年目を迎えました。施設が分離しているため、峰山学園では「指導の一貫性」と「接続」を大切に一貫教育を進めています。取り組み方や行事の内容は違っても、各校の特色を活かし、学園で大切にしている取組の過程を大事に“子ども達に育みたい力は何か”を教職員間で吟味し、共通理解のもとに取組を進めています。児童・生徒は取り組む過程の中で思いを出し合いながら目標に向かって歩みを進めます。うまく進まないことへのいら立ちや葛藤、様々な思いをぶつけ合いながら高みを目指します。また多くの人と繋がることで自信や安心感を生み、人との繋がりの中で達成感や安らぎを感じていきます。

各校が様々な取組を通して子ども達には取り組む過程の中に自己成長があること、お互いを認め合うことが信頼感を生み団結力や協働性が育まれること等、多くのことを学んでほしいと取組を進めています。行事の背景にあるねらいをご理解いただき『子ども達の応援団』として皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

こども園では一貫教育の視点として 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を目指して保育しています

子ども園から小学校に入学した際には、教室での学習活動に馴染めなかつたり抵抗を示したりする児童もあり、課題とされてきました。園から小への入学時の段差を解消するべく『接続』を意識した支援や指導を保幼小中一貫教育では大切にしています。こども園では「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した活動や遊びを展開し学童期の基礎となる様々な力を育てています。



【0期】「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」

- ◇健康な心と体 ◇自立心 ◇協同性 ◇道徳性・規範意識の芽生え
- ◇社会生活との関わり ◇思考力の芽生え ◇自然との関わり・生命尊重
- ◇数量・図形、文字等への関心・感覚 ◇言葉による伝え合い
- ◇豊かな感性と表現 ※【0期】一貫教育では指導区分を4期に分け、就学前を0期と位置付けています。

峰山こども園泥遊びの様子

ゆうかり子ども園泥遊びの様子



こども園では温かくなってきたこの時期、泥遊びを中心にした遊びが展開されています。水や砂、泥の感触を味わうこと、水の含み具合で形が変わっていくこと等、体を通して様々なことを学んでいきます。また泥や水を扱うことで心と体が解放されます。遊びを通して感性や想像力をはじめ、友達と一緒に協力し合って創り上げることで会話が増え、思いを言語に変え、コミュニケーション能力を育みます。「遊び」が小・中学校での学びの基礎を培っています。



保幼小中一貫教育への理解・協力依頼を地域に発信

峰山町区長会



5月19日(木)に開催された峰山町区長会 研修会の冒頭に時間を頂き峰山学園の保幼小中一貫教育についての説明を行いました。各地区では学校や子ども達が大変お世話になっています。保幼小中一貫教育の取組について今後も更なるご支援・ご協力が頂けたらとお願いしました。

“地域の宝”として『地域ぐるみで進める子育て』の視点のもとに峰山町の子ども達の健やかな成長を願い、今後もご支援いただけたらと思います。

峰山町民生児童委員協議会

6月21日(火)に行われた民生児童委員協議会の場でも保幼小中一貫教育についての説明を行いました。民生児童委員の皆様には、各校の児童の登下校の安心安全に関わる見守りをして下さっている方が多く、子ども達にとっても身近な存在です。「子ども110番の家」として子ども達には“何かあったら助けを求める家”として知らせており、地域の心強い応援団として関わって下さっています。

雨の日も風の日も、暑い日も寒い日も、安全ボランティアの皆さんと一緒に子ども達を見守って下さっています。



学校、家庭、地域が一体となり子ども達を健やかに育てていきますよう
今後共 ご支援・ご協力をよろしくお願い致します

